

材料工学委員会・環境学委員会・総合工学委員会合同

SDGsのための資源・材料の循環使用検討分科会（第25期・第1回）

議事録

■日時： 2020年（令和2年）12月21日（月）12:00～13:00

■会場： 遠隔会議

■出席者： 所 千晴（第三部会員）、安達 毅（連携会員）、伊藤 公久（連携会員）、岡部 徹（連携会員）（記録係）、齋藤 公児（連携会員）、笹木 圭子（連携会員）、月橋 文孝（連携会員）、中村 崇（連携会員）、平尾 雅彦（連携会員）、松 八重 一代（連携会員）、森口 祐一（連携会員）、森田 一樹（連携会員）

■オブザーバー： 岡村 好子（連携会員）（追加委員候補）

■欠席者： 大和田 秀二（連携会員）

■配布資料： 資料1 議事次第
資料2 分科会 設置提案書
資料3 分科会 名簿

■議題および決定事項

1) 委員長、副委員長、幹事の選出

以下の通り役員を選出した。

委員長： 所 千晴（第三部会員）

副委員長： 森田 一樹（連携会員）

幹事： 岡部 徹（連携会員）

笹木 圭子（連携会員）

2) 特任連携会員の任命について

村上 進亮氏（東京大学）を特任連携会員として推薦することを決定した。また、さらに適任者がいれば候補とすることを確認した。

3) 意思の表出案について

第25期では「提言」の早期提案を目指すことが決まった。

4) 第25期の活動方針について

公開シンポジウムを年に1回は行う方向で活動することになった。また、

「学術の動向」等の冊子に特集を提案できるよう活動することになった。

「提言」の内容については、特に、カーボンニュートラル政策に対する資源パラドックス問題の整理と提起、解決案の提案について議論した。

5) 議事要旨の提出に関する委員長一任について

所委員長に内容確認も含め一任することになった。

6) 分科会委員間のメールアドレス共有について

原則、全員で共有することになった。ただし、メールアドレスの全員共有を希望しないものは、別途委員長に申し出ることになった。

7) その他

所委員長より、日本学術会議の最近の状況や役割整理について、委員に対し説明があった。

所委員長および中村委員より、会議体の役割や構成について説明があった。

以上